

宮崎森林管理署都城支署交渉（全国林野関連労働組合都城支署分会）

議 事 要 旨

1 日 時 令和6年3月27日（水） 12：00～12：30（30分）

2 場 所 宮崎森林管理署都城支署 会議室

3 出席者：

宮崎森林管理署都城支署	塚本 徹	支署長
同	宮川 茂則	総括事務管理官

全国林野関連労働組合都城支署分会	河本 正人	委員長
同	那須 芳広	副委員長
同	森 俊之	書記長
同	南崎 亜紀子	執行委員
同	小谷 豊	執行委員
同	藤原 洋太	執行委員

4 交渉事項

（1）令和6年度事業実行体制に係る労働条件について

5 議事概要

（1）令和6年度事業実行体制に係る労働条件について

組合） 4月1日付け人事異動の内容から現場の事務取扱が増える中、今回説明を受けた令和6年度事業量をみると、令和5年度よりも事業量が増えており、職員への負担が令和5年度以上に重くかかる状態である。令和6年度事業実行体制について、どのような運営を考えているのか認識を伺いたい。

当局） ご指摘のとおり、令和5年度から令和6年度にかけて事業量の増加により、職員の皆様には大変負担をかける。人事異動では、幹部全員が森林事務所の事務取扱となるが、支署長自らが中心となって細かく打合せを行いながら各グループの業務効率化を図っていく考えである。

また、新任の職員に対しては、在任する職員の協力も得ながら不安等を解消できるようサポートしていきたいと考えている。

組合） 今回の人事異動では、現場の空きポストが増加したという印象であり、空きポストの解消については引き続き求めていく考えであるが、まずは、業務の回しやフォローの部分をしっかり行い、土木業務や新任の経理担当者及び単独で業務に当たる担当者に対するフォローアップをお願いしたい。

事業にもよるが担当者に任せっきりという状況も見られ、特に年度末の業務状況は異常とも見て取れた。職員は、不安や心労を抱えているため目配り・気配り

だけでは問題解決には至らないので、各総括に任せることなく支署長の積極的なリーダーシップをお願いしたい。

当局) 各総括及び各森林事務所との連携を密にし、職員へのフォローアップをしっかりと行いながら支署の業務運営を円滑に進めていきたい。また、土木業務については署内の人員を見直し2名体制とし、新規の経理担当も係員及び署内の経理経験者の応援を得ながら業務運営を実施していくことを考えており、しっかりとフォローアップを実施しながら、職場全体の雰囲気を変えることなく楽しく明るい職場づくりに努めたい。

組合) 職場の円滑な業務運営を行うため、管理者の指導力と目配り・気配りで風通しの良い環境づくりを共に作り上げたいと考えている。令和6年度業計については継続案件として、議論すべきは議論し、相談すべきは相談し、緊張感をもって災害のない職場を第一に無災害を継続するため、管理者の強力なリーダーシップをお願いしたい。

当局) 円滑な事業運営を行うためには、職員の安全、健康の保持増進、また、明るくて活気がある風通しの良い職場となるよう、引き続き、目配り・気配りを忘れずに取り組んで参りたい。また、貴団体との良好な関係が重要であり、令和6年度の業計については継続案件として、議論すべきは議論するとの基本姿勢に立ち信頼関係を構築していきたいと考えている。

(以 上)